

モンテッソーリ Luce だより

2019年11月

モンテッソーリ Luce タイム担当：小山 英里佳



11月より言語の教具も取り入れました。50音並べや文字さがしに挑戦したり、鉄製はめこみを繰り返し行う姿も見られました。この後も言語の教具をおいておくので砂文字板やなぞり文字板などにも挑戦してみてくださいね。また、クリスマスオーナメントづくりではいつものスパンコール付けで培った針使いでとてもすてきなオーナメントができましたね！

モンテッソーリの言語活動は今まで行ってきた日常生活の練習や感覚のお仕事の土台があってこそできるものです。モンテッソーリが言語のお仕事を考案した当時、一般的に言語教育は難しいものと考えられ学齢児になってから教えるというのが通例でした。もちろんモンテッソーリ自身もそのように考えていたそうです。しかし、モンテッソーリはものの名前や使い方をどんどん吸収していく子ども達の姿から、子どもの受容力を感じ、言語教育を行うことを決意しました。また、モンテッソーリが当時教えていた子ども達は読み書きのできない親の子どもが多かったそうです。読み書きが出来ず苦労した親からの要求もモンテッソーリを突き動かし、従来考えられていた時期よりも早い時期の子どもたちに言語教育を行う事にしたそうです。

モンテッソーリは経験を通して学ぶという方法が子どもにとって有効であると感じていたため、言語教育においても身体を使う事を大切にされた方法、教具を考えました。難しいと思われていた言語教育も感覚経験に訴えた教具を使い、準備をしていくことで、無理なく学ぶことができるのです。例えば、砂文字板は木の板にサンドペーパーで五十音がプリントされたものを書き順の通りに手でなぞり、その文字を発音するお仕事です。指先でサンドペーパーのざらざらとした感触を感じながら、正しい書き順と文字の形・発音を覚えます。書き方を砂文字を触ることで触覚で感じ、触った後にゆっくりとはっきり発音することによって耳（聴覚）で読み方を覚える事ができるのです。何度も指先で文字をなぞり感じ、身体でその文字を覚えていきます。また、なぞる動作と同時に発音もすることで、文字の形と音をむすびつけることにもつながっていきます。文字を書き始める前に十分砂文字で文字とお友達になることで、自然と正しい文字の書き方が筋肉に記憶され、わかっていくのです。



今月のお仕事紹介

☆鉄製はめこみ

対象年齢：4歳～

鉄製はめこみは10組のはめこみ鉄製幾何図形を使うお仕事です。このお仕事は鉛筆を持って書く練習のためのお仕事です。幾何図形を書くので、一見すると言語教育の教具に見えないかもしれませんが、文字を書くことを学ぶ時、鉛筆をもって文字を何度も繰り返し書かせるというやりかたが一般的ですが、モンテッソーリの言語教育では、書くという行為を細かくわけて練習する点が特徴といえます。書くという行為を①書く道具（鉛筆・ペン）の操作、②文字の形を覚えること③文字を組み合わせてことばができることを知る。この3つにわけて練習します。鉄製はめこみは①書く道具の操作のためのお仕事なのです。また、幾何図形を組み合わせて書いたり、好きな色でぬったりすることによって、間接的に芸術的感覚を洗練することにもつながっていきます。

興味点：正しい姿勢で書く。書くものの持ち方。手首や腕の動かし方。

直接目的：書くものを持って、書くことを覚える。

間接目的：意志と運動の調整。（紙への軽い接触と輪郭線から出ないことに要する注意力。）芸術的感覚の洗練。



【活動の様子】



クリスマスオーナメント 素敵な作品ができたね！